

第 1 章 施設の変更に関する計画等

1 計画概要

駒岡清掃工場は、旧工場の老朽化に伴い、更新工事に着手し、新工場が令和 7 年 8 月より稼働を開始した。新工場稼働後、煙突から排出される排ガスが想定よりも上昇せず、煙突の背後の気流の変化によって生じる渦に巻き込まれて降下するダウンウォッシュ現象の発生が時折確認された。

煙突周囲の気流の流れと排ガス流れについて流体シミュレーションを用いて検討した結果、排ガス排出口の位置を現状から 2.5m 高くすることでダウンウォッシュ現象の発生を抑制することが可能となるものと判断した（図 1-1-1）。

本生活環境影響調査書は、駒岡清掃工場の排ガス排出口の位置の変更に伴う周辺環境への影響を把握し、保全対策の必要性を検討するために実施するものである。

なお、駒岡清掃工場建設にあたっては、平成 31 年 4 月に「駒岡清掃工場更新事業環境影響評価書」として周辺環境への影響について予測、評価を行っている。本書では、駒岡清掃工場の排ガス排出口の位置を変更することに伴い「駒岡清掃工場更新事業環境影響評価書」の予測、評価から変更が生じるものについてのみ検討・調査を行うものとする。

2 施設の変更者の氏名及び住所

氏 名：札幌市長 秋元克広

住 所：札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

3 変更する施設の設置場所

所在地：札幌市南区真駒内 129 番地 3 他（図 1-1-2 参照）

4 変更する施設の種別および変更の内容

変更する施設の種別：焼却施設

変更する内容：排ガスの排出の方法（排出口の位置）

5 施設において処理する廃棄物の種類

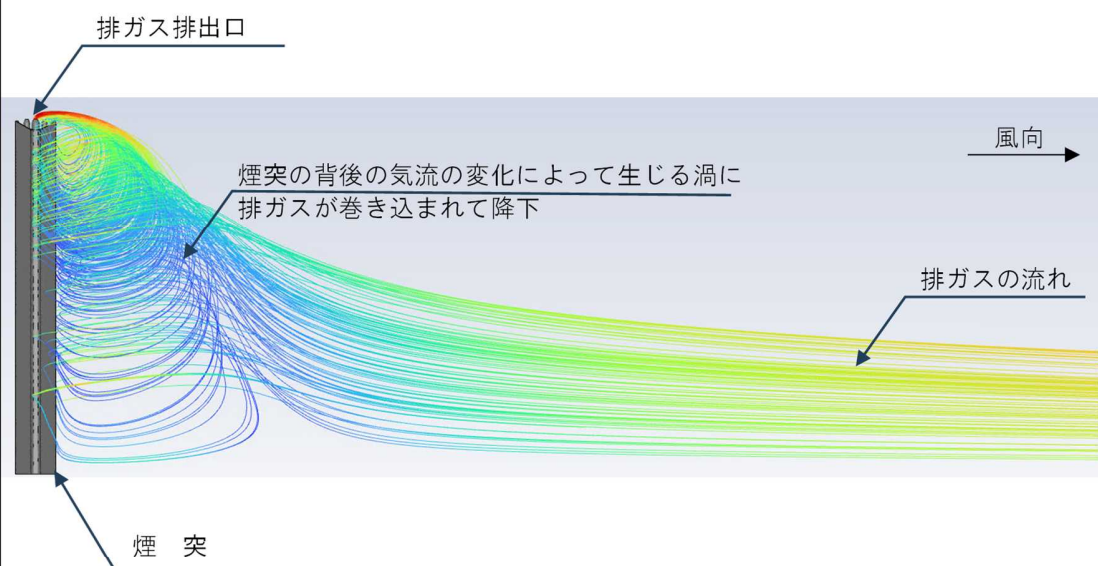
焼却施設において処理する廃棄物の種類は、以下に示すとおりである。

一般廃棄物（燃やせるごみ、大型ごみ、地域清掃ごみ、許可事業者搬入ごみ、自己搬入ごみ）

産業廃棄物（木くず、紙くず、繊維くず）

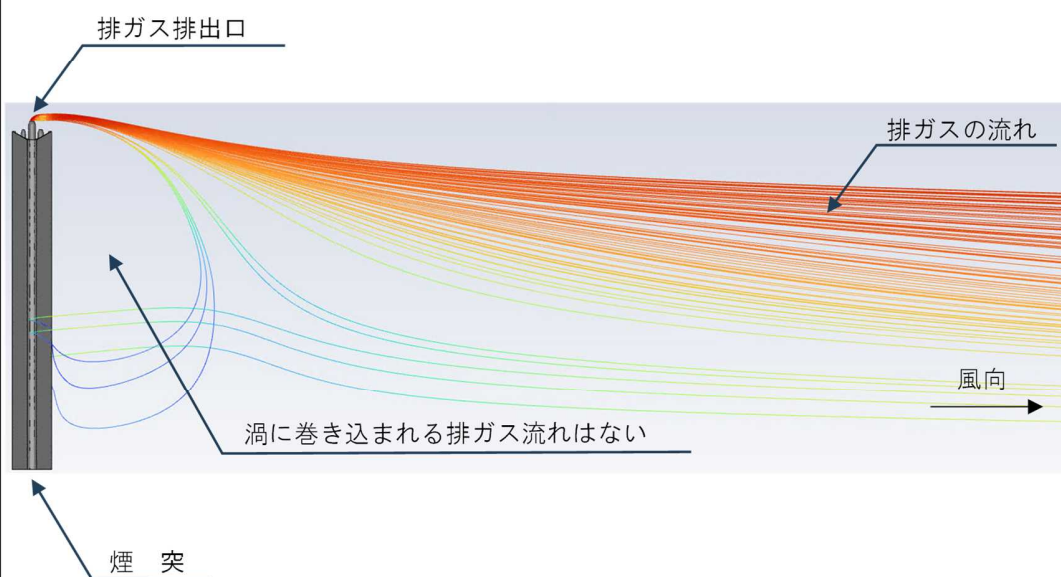
施設の変更に伴い、処理する廃棄物の種類に変更は生じない。

煙突高さ（現状：100m）



排ガス排出流速は、施設稼働期間中最も出現頻度が高い24.2m/secとし、
大気風速は、ダウンウォッシュの発生日安となる排ガス吐出流速の1/1.5である17m/secとした。

煙突高さ（変更後：102.5m）



排ガス排出流速は、施設稼働期間中最も出現頻度が高い24.2m/secとし、
大気風速は、ダウンウォッシュの発生日安となる排ガス吐出流速の1/1.5である17m/secとした。

図 1-1-1 流体シミュレーション結果





凡 例	
	事業実施区域
	区 界

図 1-1-2 事業実施区域位置図

注：この地図は、国土地理院発行の5万分の1
地形図(石山)を拡大して使用したものである

